

平成16年保育士試験問題

小児保健

(選択式20問)

注意事項

- 1 指示があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙について
 - (1) 鉛筆(HB又はB)を使用し、濃く、はっきりとマークすること。
 - (2) 受験番号・氏名(漢字・カナ)・生年月日を記入し、受験番号が正しくマークされているか確認すること。(正しくマークされない場合、採点されないことがあります)
 - (3) 各問に対し、2つ以上解答したときは誤りとする。
 - (4) 解答は次の例にならってマーク(記入)すること。
(例) 問5の解答が、3であれば解答用紙を
問5 1 2 3 4 5 マークすること。

良い解答の例 … (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

悪い解答の例 … (解答したことになる)
 - (5) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないよう完全に消すこと。
 - (6) 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう注意すること。

問1 保育所保育指針の中の「虐待などへの対応」についての記述である。

(A) ～ (E) に当てはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

虐待が疑われる子どもでは、次のような心身の状態が認められることがある。発育障害や栄養障害、体に不自然な傷・皮下出血・(A) ・やけどなどの所見、脅えた表情・暗い表情・極端に落ち着きがない・激しい痙攣・笑いが少ない・泣きやすいなどの(B) 面の問題、言語の遅れが見られるなどの発達の障害、言葉が少ない・(C) ・不活発・乱暴で攻撃的な行動、衣服の着脱を嫌う、食欲不振・極端な偏食・拒食・過食などの食事上の問題が認められることもある。

虐待が疑われる場合には、子どもの(D) とともに、家族の養育態度の改善を図ることに努める。この場合、一人の保育士や保育所単独で対応することが困難なこともあり、嘱託医、地域の(E)、福祉事務所、児童委員、保健所や市町村の保健センターなどの関係機関との連携を図ることが必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	打撲	情動	緘黙	養護	教育相談所
2	外傷	心理	不注意	治療	病院
3	骨折	情緒	多動	保護	児童相談所
4	打撲	情動	寡黙	治療	教育相談所
5	骨折	心理	寡動	保護	児童相談所

問2 乳児期の運動発達についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 新生児期にみられる原始反射は、生命維持のために有利な運動機能なので、その機能の消失がみられた場合は発達の異常を疑う必要がある。
- B 運動発達には個人差があり、首がすわっていないなくても、ねがえりができる子どももいる。
- C 運動発達の順序として、手の指がしっかりと動くようになってから、肘や肩の動きが正確にできるようになる。
- D 生後3か月時点では、子どもの90%以上が首はすわっているのに、この時期に首がすわらない場合は発達の遅れを疑う必要がある。
- E 臓器の重量からみると、脳神経系の発育速度は乳幼児期が最も早い時期である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	×	○
2	×	○	×	○	×
3	×	×	○	×	○
4	×	○	×	○	×
5	○	○	×	○	○